CASBEE広島における重点項目の環境配慮設計概要

CASBEE-広島 2014年版

学校法人安田学園白島キャンパスⅠ・Ⅱ期建替工事 中高校舎

※下表の空欄に環境配慮設計の概要をコメントしてください。

配　慮　項　目	評価点	重み係数	内　訳							
■1.「地球温暖化対策」の推進										
1.1　建物の熱負荷抑制										
(コメント)　※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	0.00	Q1	室内環境	2	温熱環境	2.1	室温制御	2	外皮性能
Low-E窓ガラスの採用による日射負荷抑制、断熱性能の向上、LED照明採用による内部発熱の抑制、BPIm：0.77	0.0	0.00								
	4.0	1.00	LR1	エネルギー	1	建物の熱負荷抑制				
小計	4.0	0.03								
1.2　自然エネルギーの利用										
(コメント)　※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	1.00	LR1	エネルギー	2	自然ｴﾈﾙｷﾞｰ利用				
小計	3.0	0.06								
1.3　設備システムの高効率化										
(コメント)　※配慮事項を簡潔に記載してください。□	4.0	1.00	LR1	エネルギー	3	設備システムの高効率化				
全熱交換器の採用、BEIm：0.77										
小計	4.0	0.29								
1.4　設備システムの効率的運用										
(コメント)　※配慮事項を簡潔に記載してください	4.0	0.50	LR1	エネルギー	4	効率的運用	4.1	モニタリング		
中央監視装置による一括管理、エネルギー消費量の計量	3.0	0.50	LR1	エネルギー	4	効率的運用	4.2	運用管理体制		
小計	3.5	0.12								
1.5　資源・マテリアル対策										
(コメント)　※配慮事項を簡潔に記載してください。□	4.0	0.10	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	1.1	節水		
擬音装置、節水型便器の採用による水資源の保護、OAフロアの採用、解体・更新の際に容易に作業を行えるようPSを適切に設置、可動間仕切りを採用	3.0	0.11	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	1.2	雨水利用・雑排水再利用	1	雨水利用システム導入の有無
	3.0	0.05	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	1.2	雨水利用・雑排水再利用	2	雑排水再利システム導入の有無
	3.0	0.08	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.1	材料使用量の削減		
	3.0	0.15	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.2	既存建築躯体等の継続使用		
	3.0	0.15	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		
	3.0	0.15	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		
	2.0	0.08	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.5	持続可能な森林から産出された木材		
	5.0	0.15	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		
小計	3.3	0.35								
1.6　ライフサイクルCO2排出率										
(コメント)　※配慮事項を簡潔に記載してください	4.9	1.00	LR3	敷地外環境	1	地球温暖化への配慮				
LCCO2が一般的な建築物と比較して50%以下										
小計	4.9	0.15								
1.「地球温暖化対策」の推進の評価	3.8	0.71								
■2.「ヒートアイランド対策」の推進										
2.1　温熱環境の向上										
(コメント)　※配慮事項を簡潔に記載してください。	2.0	0.49	Q3	室外環境（敷地内）	1	生物環境の保全と創出				
	2.0	0.24	Q3	室外環境（敷地内）	3	地域性・アメニティへの配慮	3.2	敷地内温熱環境の向上		
	2.0	0.27	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮	2.2	温熱環境悪化の改善		
小計	2.0	0.97								
2.2　交通負荷抑制										
(コメント)　※配慮事項を簡潔に記載してください。	1.0	1.00	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮	2.3	地域インフラへの負荷抑制	3	交通負荷抑制
小計	1.0	0.03								
2.「ﾋｰﾄｱｲﾗﾝﾄﾞ対策」の推進の評価	2.0	0.20								
■3.「長寿命化対策」の推進										
3.1　耐用性の向上										
(コメント)　※配慮事項を簡潔に記載してください。	3.0	0.18	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.1	耐震・免震	1	耐震性
外壁仕上げ材の補修間隔30年以上、内装仕上げ材の更新間隔20年以上、設備耐震クラスA	3.0	0.27	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.1	耐震・免震	2	免震・制振性能
	3.0	0.11	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	1	躯体材料の耐用年数
	5.0	0.11	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	2	外壁仕上げ材の補修必要間隔
	5.0	0.05	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔
	3.0	0.05	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	4	空調換気ダクトの更新必要間隔
	5.0	0.11	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	5	空調・給排水配管の更新必要間隔
	3.0	0.11	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	6	主要設備機器の更新必要間隔
小計	3.5	0.58								
3.2　設備の更新性										
(コメント)　※設計の計画上特段に配慮した事項を記載してください。	3.0	0.20	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	1	空調配管の更新性
	3.0	0.20	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	2	給排水管の更新性
	3.0	0.10	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	3	電気配線の更新性
	3.0	0.10	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	4	通信配線の更新性
	3.0	0.20	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	5	設備機器の更新性
	3.0	0.20	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	6	バックアップスペースの確保
小計	3.0	0.42								
3.「長寿命化対策」の推進の平均点（上記2項目）	3.3	0.09								
■重点項目の総平均（上記3項目）	3.4									